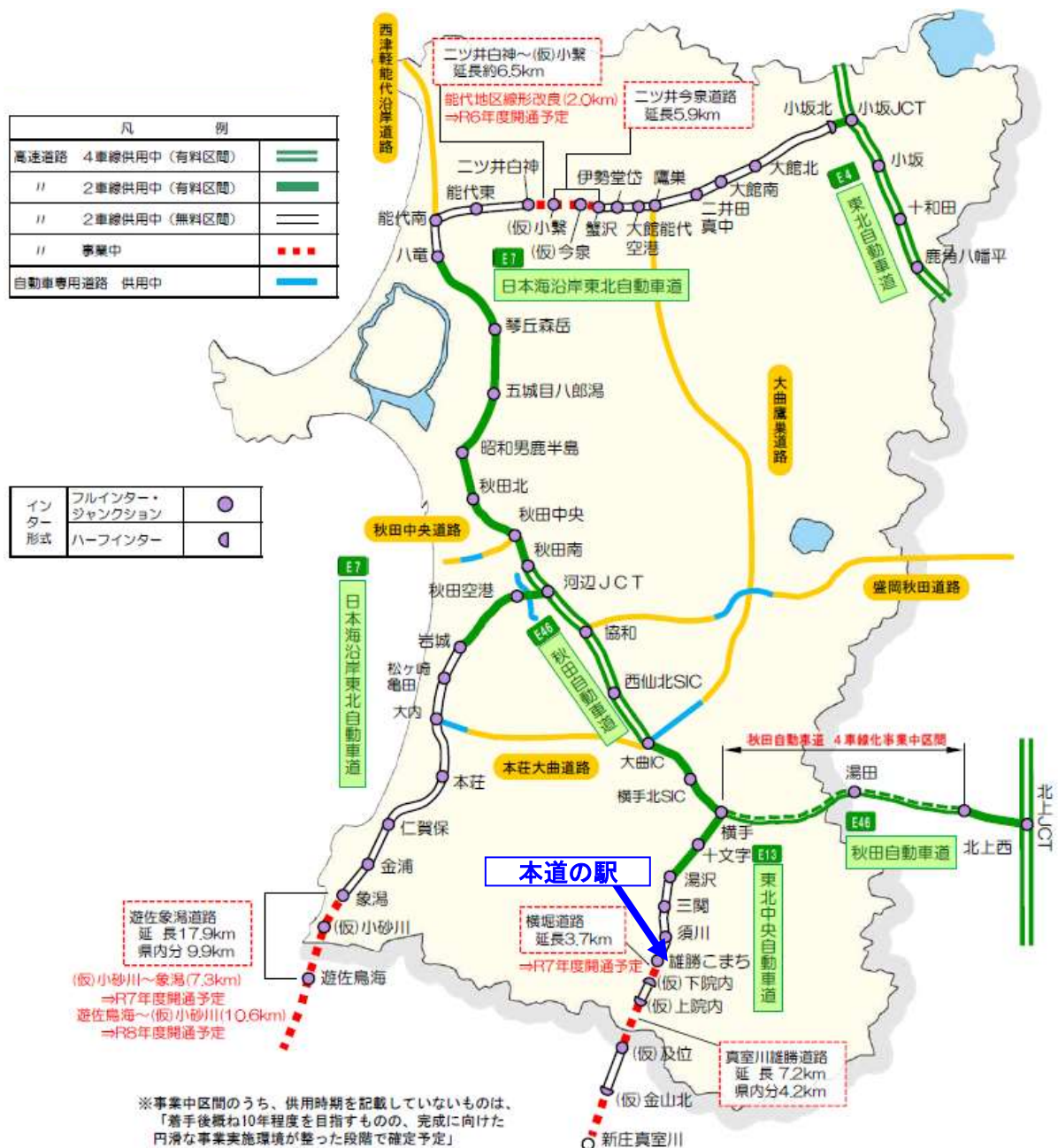


【参考情報】道の駅おがちについて

1. 湯沢市及び本道の駅の特性

(1) 立地特性

- ・本市は県境に立地し、秋田県の南の玄関口に位置する。
- ・本道の駅は、国道 13 号沿いに立地しており、令和 7 年度には、雄勝こまち IC 以南の東北中央自動車道横堀道路が開通予定である。
- ・東北中央自動車道の無料区間（湯沢 IC～東根 IC 間）には休憩施設が設置されないため、パーキングエリアやサービスエリアの代替施設としての本道の駅の活用が期待される。



出典：2023 秋田県の高速度道路

(2) 人口動向

- ・本市の2010年の人口は約46,600人で、1955年以降減少傾向となっており、今後も減少していくことが予測されている。
- ・また、本市の年齢別人口の推移を見ると、64歳以下の人口減少が著しく、高齢化率は2020年で約40%、2030年以降は約48%と予測されている。



図. 湯沢市の人口推移

資料：各年国勢調査（1955～2015年）、国立社会保障人口問題研究所推計の将来人口（2020年～）

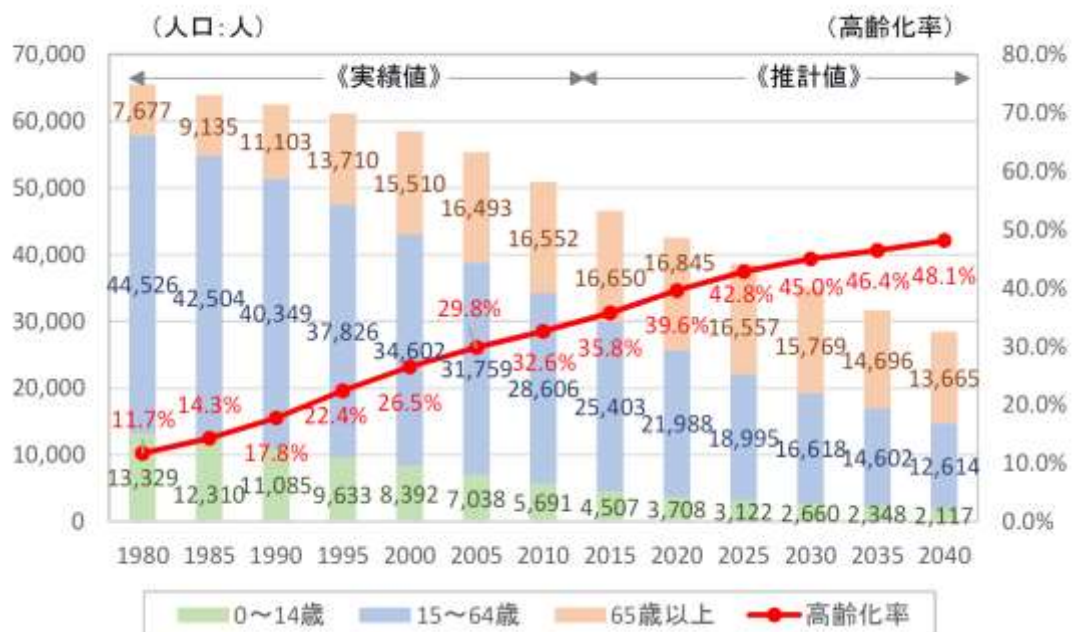


図. 湯沢市の年齢別人口推移

資料：各年国勢調査（1980～2010年）、2015年以降は2010年国勢調査100mメッシュ人口を基に推計
出典：いずれも湯沢市都市計画マスタープラン

(3) 気象特性

- ・本市は日本有数の豪雪地帯であり、市内全域が特別豪雪地帯に指定されている。
- ・長いときは11月から4月初旬までが積雪期間となることもあり、最深積雪は約1 mに達する。

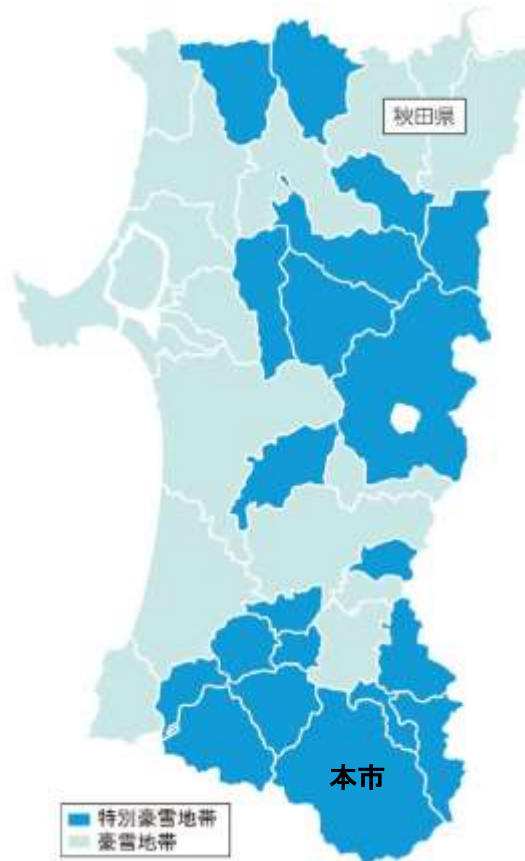


図. 秋田県内の豪雪地帯及び特別豪雪地帯指定図

出典：秋田県新広域道路交通ビジョン

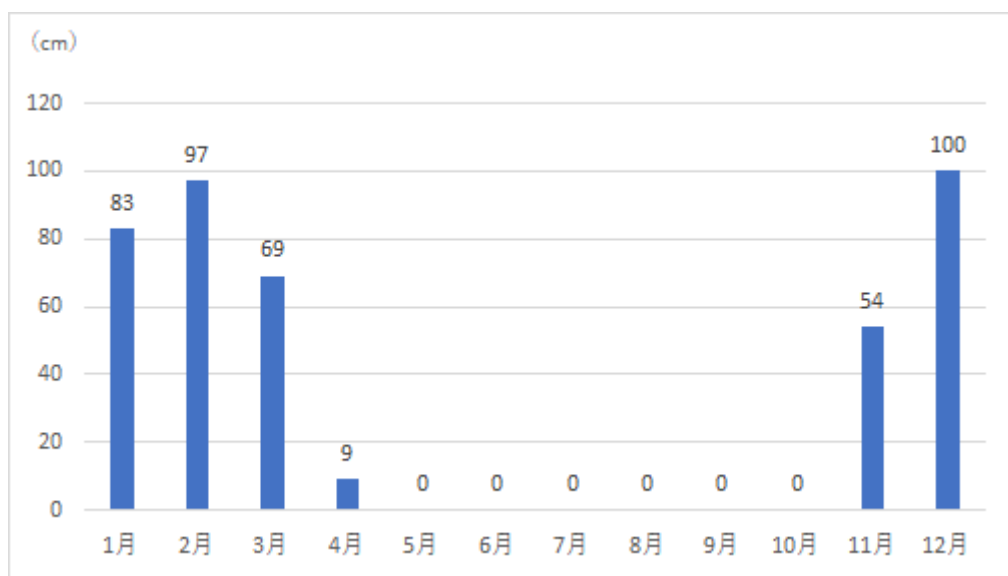


図. 本市の月別最深積雪（1991～2020 の平年値）

出典：気象庁 HP

(4) 観光・地域資源

- ・市内全域に各種観光資源が分布しており、本道の駅は、湯沢駅の観光案内施設及び各温泉郷の観光案内施設と連携して市内全域の情報提供・PRを行う拠点として重要である。
- ・稲庭うどん、日本酒・米、三関さくらんぼ、三関せり等、地元の特産品がある。
- ・小野小町伝承、全国まるごとうどんエキスポ、ジオパーク、犬っこまつり、七夕絵どうろうまつり等、多様な地域資源がある。



図. 本市内の観光施設等

出典：湯沢市観光ガイドブック「ゆざわなび」

(5) 観光入り込み客数

- ・市内の観光客数をみると、コロナ前の 2019 年までは、観光地点と行祭事・イベント等にそれぞれ 50 ～60 万人ずつ、約 120 万人が来訪していた。
- ・市内の主な観光地別年間入り込み客数では、本道の駅がとびぬけて多く、令和 5 年は約 39 万人であった。

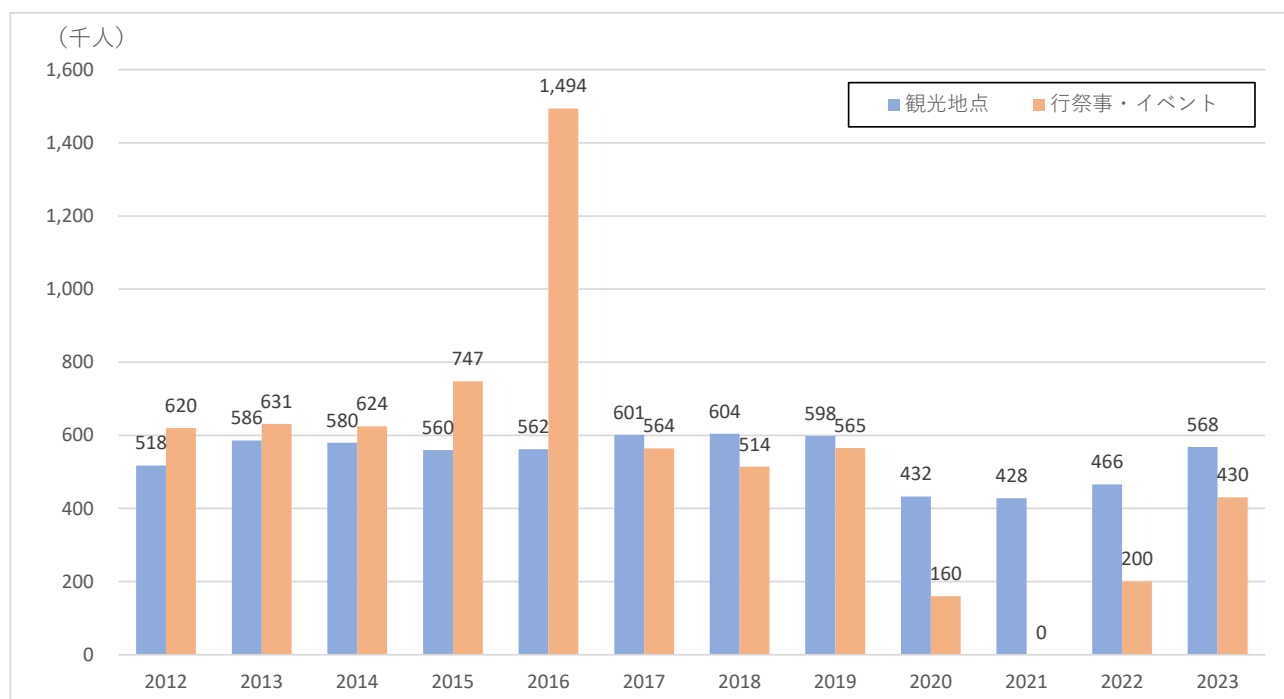


図. 本市の年間観光入り込み客数推移

出典：各年秋田県観光統計、最新年は湯沢市提供資料

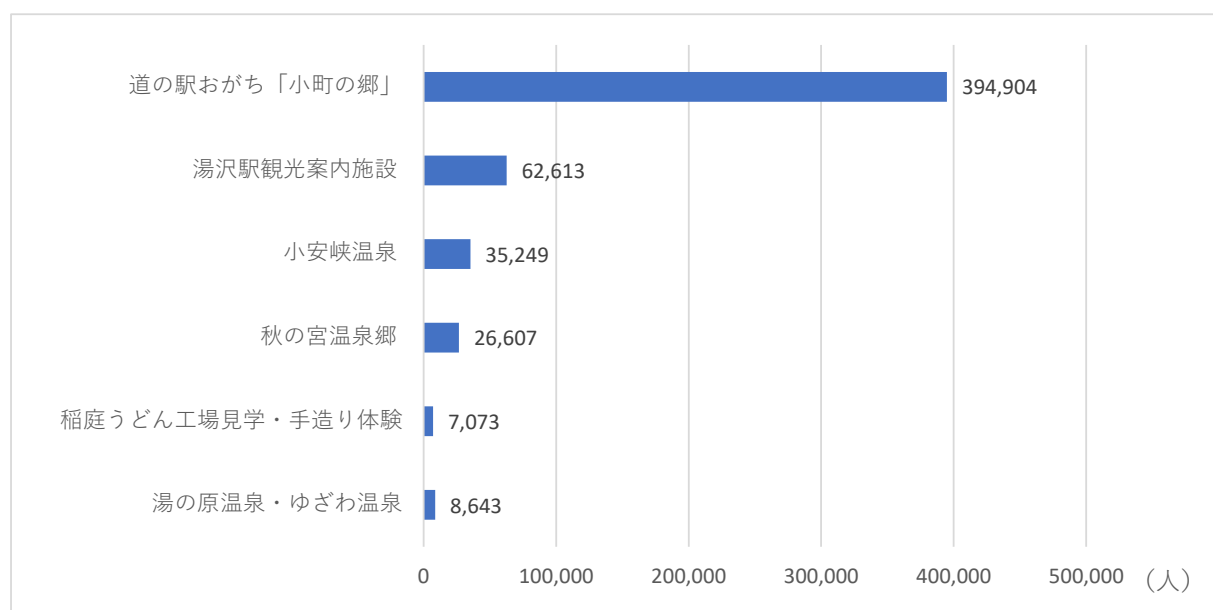


図. 市内の主な観光地別年間入り込み客数（2023：令和 5 年）

出典：湯沢市提供資料

（６）本道の駅及び周辺の現況

■本道の駅

- ・交流施設棟の建物意匠が小野小町に因んだ市女笠を模しており、国道 13 号のランドマークとなっている。また、東北中央自動車道からもその特徴的な建物を確認することができる。
- ・交流施設棟の 1 階が物販コーナー、2 階がレストランとなっている。
- ・物販コーナーは、稲庭うどんや日本酒、雄勝産の秋田こまち、いぶりがっこなど、本市の加工品や銘菓等が豊富に販売されている。
- ・特に、大容量でお得な商品が販売される稲庭うどんや、限定商品も扱われる日本酒は、それぞれのコーナーが設けられている。
- ・休憩施設棟の前面に屋根付き通路があるが、その周りにテントやベンチ、ATM、EV ステーション等が並び、施設内部の人の動きが見えにくい。
- ・道の駅に求められる役割・機能は、「道の駅」第 3 ステージの新たなコンセプトとして『地方創生・観光を加速する拠点』及び『ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献』が示されるなど、建築当初と異なってきていることから、時代のニーズへの対応等が不可欠となってきている。
- ・非常用電源、防災行政無線が設置されるなど、防災機能の向上が図られている。
- ・特別豪雪地帯で、冬期間は駐車場の除雪・排雪が必要となり、堆雪スペースを確保するため駐車台数が減少する。



特徴的デザインの交流施設棟建物



交流施設棟 1 階が物産コーナー、2 階がレストラン



休憩施設棟前面のテント等で駐車場側から施設が見えにくい

■周辺

- ・小町の郷公園では、小野小町伝承や芍薬、当時の面影を模した建物等が見られる。また、小町まつり（6月）で奉納行事やステージイベントが行われる舞台があるとともに、雄勝の雪まつり（2月）の会場にもなる。さらに、遊具広場、ドッグラン等が整備されている。
- ・観光交流拠点施設内には、農産物直売所、農産物加工所その他、子どもの遊び場等も設置されている。
- ・小町の郷公園と観光交流拠点施設（農産物直売所）の間には、小野小町や深草少将の墳墓と言われるニツ森がある。
- ・本道の駅の各施設、観光交流拠点施設（農産物直売所）、小町の郷公園の各施設が個々に配置されており、一体的利用がしづらい状況にある。
- ・本道の駅と観光交流拠点施設（農産物直売所）・小町の郷公園の間に位置する市道上谷地・古戸線は、部分的に廃止される予定であり、敷地内の一体的利活用が図りやすい状況となる。



観光交流拠点施設内に子どもの遊び場がある



小町の郷公園内にある小町ゆかりの遺跡をイメージした施設



本道の駅と観光交流拠点施設の間にある市道

(7) 交通量

- ・周辺道路の交通量（令和 3 年度時点）は、国道 13 号が約 5,000 台/日、東北中央自動車道が約 6,700 台/日である。
- ・令和 7 年度に東北中央自動車道横堀道路が開通予定であり、将来（令和 22 年度）は国道 13 号が約 2,400 台/日、東北中央自動車道が約 8,700 台/日と、東北中央自動車道の交通量が増加すると見込まれている。
- ・本道の駅への将来（令和 22 年度）立寄交通量は、約 2,500 台/日程度と見込まれている。

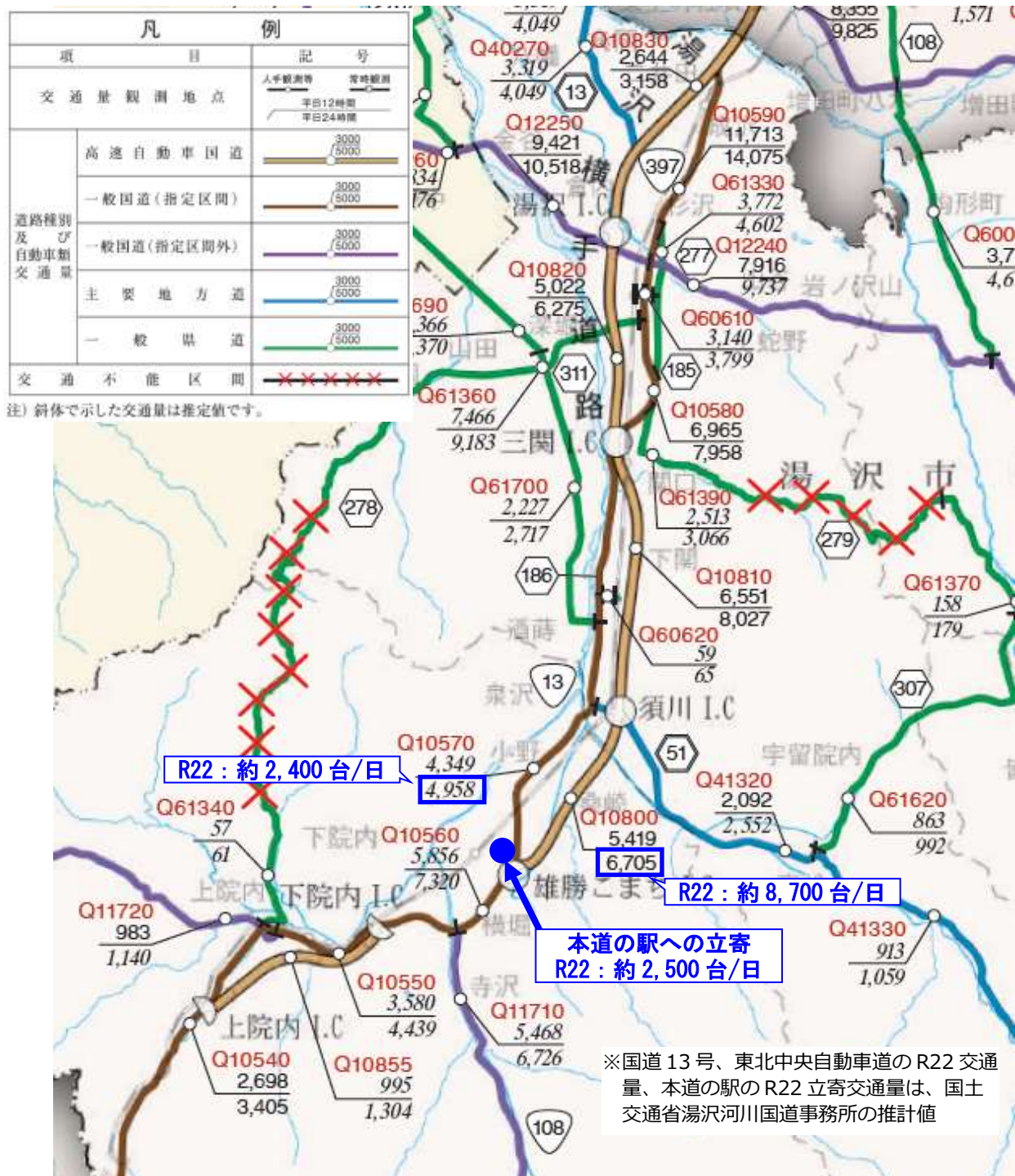


図. 周辺道路の交通量

出典：令和 3 年度 道路交通センサス交通量図 雄勝地域振興局版（秋田県）

(8) 周辺道の駅の状況

- ・本道の駅周辺に、道の駅うご（蕎麦が強み。一般道で約 18km・約 30 分）、道の駅十文字（産直が充実。高速道路で約 24 km・24 分、一般道で約 23km・27 分）等が立地している。
- ・山形方面から見ると、道の駅尾花沢以北の最初の道の駅で、距離が約 61km と離れている。
- ・一方で、新庄市では道の駅の新設構想（令和 7 年度予定・新庄市 HP より）が、道の駅むらやまではリニューアル（令和 15 年度予定・村山市 HP より）が検討されている。



図. 周辺における道の駅立地状況

出典：国土数値情報、国土交通省資料

- ・秋田県県南地域にある道の駅では、コロナ禍の令和2年度以降に若干入り込み客数の落ち込みは見られるものの、比較的安定した入り込みがある。
- ・本道の駅は、道の駅うご（羽後町）、道の駅十文字（横手市）、道の駅雁の里せんなん（美郷町）に次いで令和4年度の入り込み客数が多くなっている。

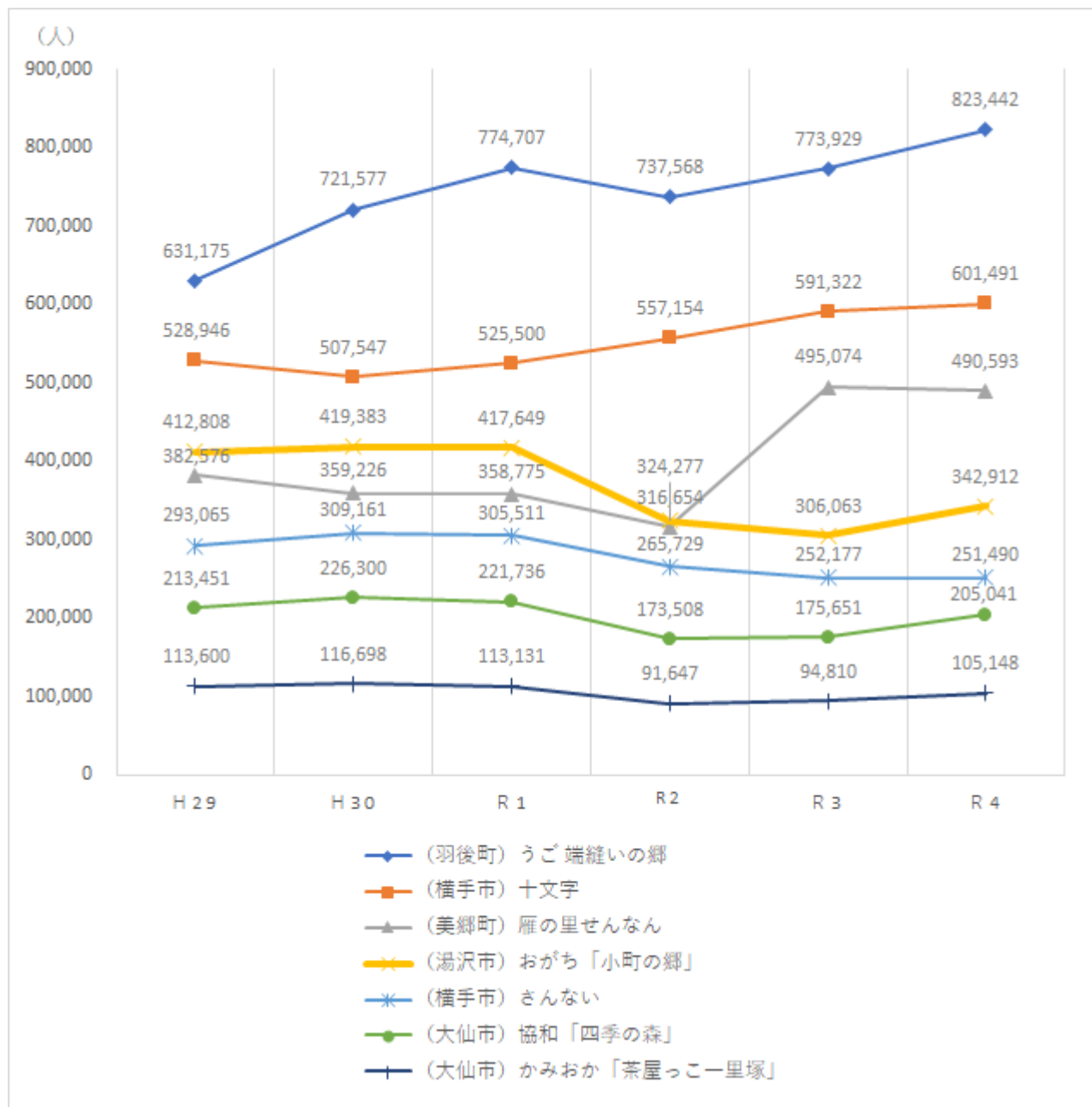


図. 秋田県県南地域の道の駅における各年度入り込み客数の推移

出典：秋田県観光統計

※道の駅おがちの入込客数（最新）…令和5年度 394,904 人、令和6年度 399,080 人

2. 道の駅おがち小町の郷周辺整備の現状

(1) 周辺道路等の整備状況

- ・東北中央自動車道「横堀道路」の整備が進んでいる。(令和7年度完成予定)
https://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/02_miti/kouji/yokobori_mamuroogachi/sintyoku/yokobori/y_241120.pdf
- ・横堀道路の整備にあわせ、インターチェンジの付替え工事（道の駅おがちに直結）が進んでいる。
（令和7年度完成予定）
- ・上記と連動して、道の駅周辺の市道の付替え工事が進んでいる（令和7年度完成予定）
- ・道の駅西側に駐車場を拡張（新設）する工事が進んでいる（令和7年度完成予定）
※地域防災計画（県・市）に基づく広域応援活動の拠点施設として位置づけられている
- ・加えて、「トイレ・道路（観光）情報提供施設」について、道の駅南西側の隣接地に新設（別棟化）することが決まっており、すでに基本設計を終えている。
※国交省（湯沢河川国道事務所）と基本設計まで協議済み。建築時期は未定。
※既存のトイレ・道路情報スペースの活用方針は未定。
※申し出のあった事業者（プロポ参加予定者）には、計画平面図データ（PDF）を後日提供可能

(2) 道路・駐車場整備後のイメージ

【整備前】



【整備後のイメージ】



3. その他

【道の駅おがち基本情報】※周辺施設（観光交流拠点施設（農産物直売所）、小町の郷公園）を含む

所在地	湯沢市小野字橋本 90
土地	市有地：6,302.44 ㎡ 国有地（駐車場部分）：6,432.83 ㎡ ※観光交流拠点施設（農産物直売所）（H23 築）…市有地：5,556 ㎡ ※小町の郷公園（H26 築）…市有地：約 35,000 ㎡
建物	建築年：H10（R7 で 27 年経過、法定耐用年数：34 年）、鉄骨造 2 階建 延床面積：1,590.15 ㎡ ⇒交流棟 965.56 ㎡、休憩棟 422.12 ㎡、付属建物 61.80 ㎡、カフェ 140.67 ㎡ ※観光交流拠点施設（農産物直売所）（H23 築、木造平屋建）…630.13 ㎡ ※小町の郷公園（H26 築、鉄骨造平屋建）…355.04 ㎡（ステージ）

【道の駅おがちホームページ】

<https://michinoeki-ogachi.jp/>